

ハチ博士の ミツバチコラム

14



京都大学大学院
環境学博士
教授 阿村 健二

コスモスとミツバチ

コスモスは秋桜とも呼ばれますが、コスモスという名は学名から来ています。その原義は宇宙・秩序を意味しますが、この花の何が宇宙・秩序をイメージさせたのでしょうか。気になって調べたところ、精緻な無数の花のイメージが宇宙・秩序を連想させたという説と、細い葉の複雑さが整然とした枝分かれのイメージが宇宙・秩序を連想させたという説がありました。

コスモスは蜜源・花粉源として重要であるという記述は

よく見かけますが、私自身、コスモスを訪花しているミツバチを観察したことはありません。勤務地（亀岡市）のコスモス園は広くて、沢山の花が延々と咲き誇っているため、訪花しているミツバチを見付けるのが大変なのでしょうか。また、各地にコスモス園があるので、コスモスの蜜が売られていてもいいように思うのですが、コスモスの蜜というのは聞いたことがありません。

前回紹介した蓮の花は早朝に開いて午後には閉じますが、コスモスは開花したら夜

も咲き続けます。夜間にも夜蛾の訪花を受けて授粉の返礼として蜜を提供しているのでしょうか。早起きのミツバチですが、夜間に蜜が吸い取られていたら、余り熱心に訪花できないのかもかもしれません。今年には早朝ではなく、夕方に夜なべをしにコスモスを訪花しているニホンミツバチがいなか探してみたいと思います。



イラスト おおくぼひとみさん